

～下記の研究を行います～

『A 病院における血液培養汚染率の評価と課題』

【研究責任者】坪倉 美由紀

【研究の目的】当院の血液培養汚染率を評価し、汚染率低減に向けた課題を抽出し、不要な検査を減らし、コストの削減、抗菌薬の適正使用につなげる。

【研究の期間】研究許可日～2025 年 3 月 31 日

【研究の方法】血液培養が同日複数セット提出された方から分離された菌種に基づき、汚染か否かを判定する。その結果をもとに、オーダー診療科別、採取場所別で汚染率を算出し、評価する。汚染の定義は、コアグラージェ陰性ブドウ球菌、緑色連鎖球菌、*Corynebacterium* 属、*Micrococcus* 属、*Propionibacterium acnes*、*Bacillus* 属が 1 セットのみから検出されたものとする。ただし、2023 年 4 月以降、ICT（感染対策チーム）会議において上記定義には合致するが、臨床上汚染菌ではないと判断された症例については汚染と判定しない。汚染率は、同日複数セットの血液培養が提出された述べ症例数を分母とし算出する。

●対象となる患者さん

2017 年 4 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の期間、当院で血液培養を採取された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：ない

情報：診療録から以下の情報を収集します。

血液培養オーダー診療科・オーダー場所、入院日、血液培養検体の受付日、分離された菌種 等

【情報等収集開始予定日】2024 年 2 月 5 日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】無し

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎ 本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

- ◎ 情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎ 情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 感染制御部 副看護師長 坪倉美由紀